

振興計画体系					事業名	事業目的	事業内容	令和6年度 事業費(千円)				前年度比	実施状況	成果	課題	今後の方向性
								国県支出金	その他特定財源	一般財源(志基金含む)	合計					
3	2	1	1	2	農業次世代人材投資事業(経営開始型)	青年の就業意欲の喚起と就業後の定着を図るため、経営が不安定な就業直後(5年以内)の所得を確保する資金を交付する。	独立・就業時(経営開始計画に即して主体的に農業経営を行っている者)の年齢が、原則49歳未満の者に対し、年間最高150万円を最長5年間交付する。	8,500		5	8,505	59%	令和5年度実績 (1) 給付者 9名 (2) 交付額 11,965,076円 (3) 事務費 77,864円 合計 12,042,940円	対象者は、独立・自営就農者であり、経営リスクを負っている新規就農者の経営が軌道に乗るまでを支援することを目的としており、担い手の育成確保に結びついた。		継続
3	2	1	1	1	地域計画策定推進緊急対策事業	高齢化・人口減少により地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念される中、農業者等による協議(話し合い)を踏まえ、地域の農業の在り方や農地利用の姿を明確化した地域計画の策定を支援する。	それぞれの集落・地域において若年者から女性を含む幅広い意見を取り入れながら、徹底的な話し合いを行い、地域農業の在り方と「目標地図」を作成し地域計画を策定する。				0	0%	実質化した人・農地プランに新たに中心経営体を加えるため、6地区の話し合い、検討会を開催	実質化した人・農地プランに新たに地域農業を担う中心経営体として追加することで、地域農業の在り方を考える機会となり、今後の地域計画策定に向けた意識を高めることができた。	地域計画を策定するだけでなく、地域の実情を踏まえた実行性のある計画を作成する必要がある。	継続
3	2	1	2	4	ツーリズム推進事業	滞在体験型余暇活動を創出し、都市と農村の交流を図る。	志布志市“志”ツーリズム協議会の会員を対象に受入研修会や、日帰り体験メニューの作成、県外の修学旅行生の受け入れ、農家民宿の開業支援等を行う。			384	384	175%	総会、修学旅行受入、日帰り体験事業の実施、各種研修会の実施等	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、研修会や講習会、先進地研修など積極的に活動を行った。昨年度より教育旅行の問い合わせや受入件数は多くなっている。		継続
3	2	1			志布志市生活研究グループ連絡協議会支援事業	農産漁村の男女が共に参画する豊かで活力ある農村社会の実現及び、農林漁業の振興に資する。	郷土料理教室の実施、先進地事例研修、広報誌面での生活の知恵の普及、曾於地域生活研究グループ連絡協議会の総会・研修会への参画、子育て世代を対象とした食文化継承の取組促進業務委託等。			66	66	80%	総会、郷土料理教室の実施、自主加工研修の実施、市報掲載等	コロナ禍で思うような活動は出来なかったが、農山漁村のより良い生活や働き方の研究・技術・知識について、地域へ波及させることが出来た。		継続
3	2	1			志布志市ブルーファーマーズ育成事業補助金	農業後継者であるクラブ会員相互の親睦と融和を図りながら、いずれ経営者となる青年が必要な情報を得たり、学んだりする場となる事業を実施しているブルーファーマーズクラブの活動を支援する。	将来の農業の担い手に必要な知識や情報を習得する機会を積極的に活用し、情報交換することで青年農業者の独立自営に寄与する。			63	63	100%	総会、新規就業助成の会出席、定例会の開催、各種研修会の実施・参加、県農業青年交換大会の参加等	会員相互の親睦と融和を図ったとともに、知識・技術の交換、技術向上のための研究により、クラブ員の知識・技術の向上及び後継者の育成が図られた。		継続
3	2	1	1	1	農地中間管理事業	農地中間管理機構を通じて農地の貸借を行い、農地の集積・集約化、農業経営の規模拡大及び新規就農者等による農用地等の効率的利用を促進し、農業の生産性向上を図る。	農地中間管理機構が一旦、農地所有者から借受け、集積・集約化し、規模拡大や経営農地の集約を行いたい担い手に貸付を行う事務を委任を受けて実施する。また機構に貸付を行った地域・個人の内、要件を満たした地域・個人に協力金を交付する。	3,490	9,010	893	13,393	147%	地域集積協力金が見込める地区(尾野見中村)を支援地区として推進した。	令和5年度実績 (1) 地域集積協力金活用なし (2) 経営転換協力金活用なし	過疎と高齢化が進む中、担い手や後継者が不足している状況にあり、未相続農地の割合も増えつつある。こうした状況の中、地域の農業を支える担い手への農地集積や作物の団地化をさらに進めるため、所有者と耕作者の意向を踏まえながら、農地中間管理事業を推進していく必要がある。	継続

振興計画体系			総合戦略体系		事業名	事業目的	事業内容	令和6年度 事業費(千円)				実施状況	成果	課題	今後の方向性	
								国県支出金	その他特定財源	一般財源(志基金含む)	合計					前年度比
3	2	1	1	2	新規就農育成総合対策事業(経営開始資金)	次世代を担う農業者となることを志向するものに対し、就農直後の経営確立を支援する資金を交付する。	独立・就農時(経営開始計画に即して主体的に農業経営を行っている者)の年齢が、原則45歳未満の者に対し、年間最高150万円を最長3年間交付する。	25,600		5	25,605	100%	令和5年度実績 (1) 給付者 13名 (2) 交付額 18,750,000円 (3) 事務費 65,687円 合計 18,815,687円	新規就農者の経営が、軌道に乗るまで支援するより、担い手の育成確保に結びついた。		継続
3	2	1	1	2	かごしまの農業未来創造支援事業(経営発展支援)	次世代を担う農業者となることを志向するものに対し、就農後の経営発展のために機械や施設等の導入を支援する。	49歳以下で新たに農業経営を開始する認定新規就農者に対して、機械・施設等の補助対象事業費(上限1,000万円)の4分の3を交付する。ただし、新規就農者育成総合事業(経営開始資金)の交付対象者は、上限500万円とする。	45,093		6	45,099	100%	令和5年度実績 (1) 給付者 4名 (2) 交付額 13,041,000円 (3) 事務費 0円 合計 13,041,000円	就農後の機械や施設等の導入を支援することで、新たに農業経営を開始した者の経営発展に結びついた。		継続
3	2	2			生産性の高い水田農業確立推進事業	地域の水田を最大限に活用し、除用に応じた米(主食用、飼料など)の生産の推進や生産性の高い水田農業の確立を図る。	・実効性のある需要調整の推進 ・地域振興作物や新規需要米等の産地化、作物の団地化及び水田フル活用等の推進	190		17	207	103%	令和5年産生産 生産量 2,343 t 面積 491.27ha 単収 476.92 kg/10a	主食用米からWCS用稲や加工用米等に転換する生産者が増加傾向にあり、直接支払い交付金を活用することで、農家所得の向上が図られた。	-	継続
3	2	2			志布志市農業航空防除連絡協議会運営事業	大規模農家や高齢者等の防除に関する負担を軽減することと一斉防除による防除効果を高めるため。	航空防除実施の事務処理及び安全管理講習会の実施			60	60	61%	令和5年度 水稲防除実施面積 早期無人ヘリ:181ha 普通期無人ヘリ:342ha 合計 523ha  かんしよ防除実施面積 畑作(甘藷):353ha	安全な航空防除事業が実施できたとともに、農家の労働力軽減が図られた。	-	継続
3	2	1			農業制度資金利子助成事業(農業近代化資金等)	農業経営の基盤の確立と近代化のために経営改善に必要な資金を借り入れた農業者等の償還負担の軽減を図るため利子補給並びに利子助成を行うことで、農業の振興と農業者の生活の向上に資する。	農業近代化資金、農業経営基盤強化資金及び農業振興資金の借入金に対する利子助成及び利子補給を行う。	13		1,319	1,332	92%	令和5年度実績 資金別内訳 (1) 農業近代化資金 106件 1,024,926円 (2) 農業経営基盤強化資金 6件 61,646円 (内県補助金 30,822円) 計 112件 1,086,572円	経営意欲と能力のある農業の担い手が経営改善を行うのに必要な資金借入に伴う自己負担が軽減された。		継続
3	2	1			経営継承・発展支援事業	担い手の高齢化が進行する中、担い手から経営を継承し、発展させるための取り組みを支援することにより、将来にわたって地域の農地利用等を担う経営体を確保する。	人・農地プランに位置づけられた中心経営体等から経営を継承した後継者が、その経営を発展させるための経営発展計画に基づいて実施する取り組みに必要な経費を補助する。	500	0	500	1,000	33%	令和5年度実績 (1) 給付者 0名 (2) 交付額 0円	-		継続